

項目	詳細
訪問（視察）場所	琿春市人民政府
訪問日時	平成 24 年 7 月 11 日（水） 16:30～17:30
概要	<p>■概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年 4 月 13 日に中央政府は、図們江区域（琿春市）国際協力モデル区を承認した。開発はこれから活発になっていく。 ・今後 30 km²の開発がおこなわれ、2～3 年後には現在の琿春市街地と同じ規模の街ができる。 ・上越市と琿春市は日本海を挟んで隣接している。友好都市の交流は、互いに利益のあることが重要で、経済、文化などいろいろな方面でつながりを持ちたい。 ・北朝鮮の羅津港に関しては、中国は、協力して開発し、港湾を利用するという方針。 ・また、道路でつながっているロシアのザルビノ港までは 70 km、ウラジオストクまでは、210 km。そこから日本海を挟み日本との距離は短い。 ・観光については、延辺州には、長白山がある。また琿春市から上越市への旅行ができる。 ・琿春市の経済状況は、工業、モデル区 国の支援、さまざまな計画がある。また、税金、土地収用、財政、支援制度、投資企業にとっては良い環境である。 ・琿春市への進出はどの分野でも歓迎する。日本企業では、小島衣料の進出をサポートした。 ・韓国企業では、ポスコ、ヒュンダイの投資計画があるほか、中国国内企業の投資もある。

概要	<p>■意見交換</p> <p>上越市長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 琿春、ザルビノ、羅先の開発など、物流が大きく変わると感じた。 ・ 直江津港もそうした物流に対応できる設備がある。 ・ 地域の開発が目覚ましく、大きく環境が変わる。 ・ 国のモデル地区政策をバックに、今後様々な交流ができればと考える。 <p>琿春市長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友好関係は継続しなければ意味はない。 ・ 今後も関係を継続していくことはいいこと。 <p>調査団参加者：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8年ぶりにこの地を訪問した。この国の変化を確認したい。 <p>調査団参加者：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1995年に中国に工場を建設し、現在は中国国内に3工場稼働している。 ・ プレス加工により金属部品を製造している。 ・ 江蘇省の工場では、人件費が高騰しており、経営が難しくなっている。 ・ 丹東の工場は順調に運営している。 ・ 丹東と琿春は距離的にも近いことから、何か出来るのではないかと考えて、調査団に参加した。 <p>調査団参加者：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の商社を通じ、衣料品を国内に卸している。 ・ 小島衣料の様子、その物流の状況を確認したい。 <p>琿春市長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾、金属加工、衣料それぞれに具体的に意見交換画が出来ればと考える。 ・ 丹東は遼寧省だが、現在、琿春市ほど恵まれた都市はない。半分は冗談だが、サポートを行っていく。 ・ 吉林省は、5年連続で国内の企業サポートランキングの上位にある。 ・ 安心して投資してもらいたい。
----	---